

# 医療機器のIoT化がもたらす手術と手術室 イノベーションの可能性



目で見ると  
海外論文発表

牛丸 裕貴\*

Innovation in surgery / operation room driven  
by IoT of medical devices

Key Words : Information communication technology, Internet of Things,  
Laparoscopic cholecystectomy, RFID, tracking

<参加会議名> 26th International Congress of the  
European Association for Endoscopic Surgery  
<開催場所> ExCeL London, United Kingdom  
<渡航期間> 2018年5月29日から2018年6月1日  
まで  
<発表タイトル> Innovation in surgery / operation  
room driven by IoT of medical devices

2018年5月29日から6月1日までの3日間、  
ExCeL London (United Kingdom) で開催された  
26th International Congress of the European Asso-  
ciation for Endoscopic Surgery (EAES) 2018 に参加  
しました。同学会は1990年に設立されて以来、内  
視鏡外科手術および軟性内視鏡手術において主導的  
役割を果たしている世界で最も活発な学会の一つで  
す。ヨーロッパ各地において毎年トップレベルの国  
際学会を開催し、同時に教育、手術手技の訓練、臨  
床研究、新規デバイス開発などにも注力しています。

本学会では私はThe Gerhard Buess Technology  
Award session で口演を行いました。海外での初の  
口頭発表、同時に Award session での採択であつた  
ため、非常に緊張しましたが、指導教官の中島清一  
先生をはじめ、皆様からご指導ご助言をいただいた  
おかげで満足のいく発表を行うことができました。  
質疑応答にはたくさんの質問をいただき、今後の研

究方針に関わる貴重なご意見をいただくこともでき  
ました。また、積極的な姿勢をもって国際学会に参  
加することの重要性を肌で感じることができ、有意  
義な時間を過ごすことができました。

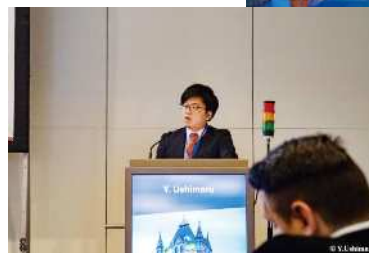
本学会での経験を通し、自分の専門分野だけでは  
なく、広く関心を抱き続け、多くの知識を身につけ  
ることの大切さを感じました。加えて、英語学習の  
意欲も大きく向上しました。今後の研究活動におい  
て、本学会の経験は大きな飛躍につながるものと確  
信しております。

最後になりましたが、海外論文発表奨励賞に採択  
していただき、渡航費のご支援を頂いたことに厚く  
御礼申し上げます。

(写真1)  
学会会場にて  
発表者を撮影



(写真2)  
Award session での  
発表風景



(写真3)  
指導教官、先輩方と  
発表会場にて記念撮影



(写真4)  
授賞式の風景  
(発表者は右から1番目)



\* Yuki USHIMARU

1983年5月生まれ  
現在、大阪大学大学院 医学部 医学科  
外科学講座消化器外科 次世代内視鏡共  
同研究部門 大学院生 MD  
消化器外科  
TEL : 06-6879-3251  
FAX : 06-6879-3259  
E-mail : yushimaru@gesurg.med.  
osaka-u.ac.jp